

浩然

「ふるさとを愛し 自他を大切に
志高く未来を切り拓く生徒の育成」

香美町立村岡中学校通信

No. 9 2019. 11. 11 (Mon.)

「教育とは何かが変わること」

令和最初の村岡中文化祭。ただ伝統をつなぐだけではなく、新たな思いを生み出していきたい。「こんな学校を創りたい」「こんな自分になりたい」「一人ひとりが輝く存在でありたい」……。テーマに込められたそんな願いが十分に達成された文化祭だったのではないのでしょうか。

柱となる各学年の演劇では、これまで授業や練習で積み上げてきた中に、笑いあり、涙ありのすばらしい演技が繰り広げられました。テンポよく言葉の掛け合いがなされていく様子からは、ただセリフを読むのではなく、その人物の気持ちや場面設定を想像して、よりクオリティを高めようとして何度も練習したことが伝わってきます。それだけでなくセリフがないときの動作、次のパフォーマンスへのつなぎ、小道具や背景画、効果音のタイミングまで工夫が随所に感じられ、担任や副担任も含めたみんな

で知恵を出し合って劇を練り上げていったことがしっかりと感じ取れました。他にも吹奏楽部の演奏や1年生の折鶴アート「猿尾滝」、合唱、展示作品の一つ一つまで、毎日の部活動や授業を大切に活動していることが伝わってくる内容でした。日頃、身に付けてきた力が十分に発揮されており、交流することを通してまた次の表現への意欲も高まったのではないのでしょうか。保護者の皆様も温かいご声援、誠にありがとうございました。事後のアンケートでも高い評価をいただきました。生徒もまた学びの成果をさらに実感できるのではと考えます。



*

*

村岡中学校の生徒全員が一丸となって取り組んできた体育祭や文化祭を見るたびに、繰り返し頭に浮かぶ言葉があります。「教育とは何かが変わることである」という言葉です。「あのな、才田先生。教師の仕事ってというのは、子どもがそれまで出来なかったことを出来るようにしてあげること、わからなかったことをわかるようにしてあげること、ただそれだけだよ。」教師になったばかりの若い私が、『先生が子どものために一生懸命するのは当たり前、子どもたちが自分で何かが出来るようにしてあげられなければ、教師としてはまだまだ未熟なのだ』ということを感じ知らされた大切な言葉です。以来、私は「教育とは、何かが変わること」と、自分なりに生徒たちと時にぶつかり合いながら、泣きながら笑いながら向き合ってきたつもりです。生徒たちが授業や文化祭など学校行事の取り組みの中で、また日々の言動などから日に日に成長する姿を見るにつけ、「そうだ、これが教育だ。」と思います。合唱でも演劇でも「大丈夫かな」と思っていたのに、練習を重ねるうちに村岡中学校の生徒全員の動きは明らかに変わってきました。その姿に私は一人感動して胸が熱くなりました。

文化祭当日、開演前の気合いの入った声、終わった直後、幕裏での「わー、やったー！」という歓声、そして一人ひとりのやり遂げた満足げな笑顔と表情、その全てが忘れられない思い出です。いい文化祭を作り上げようとする皆さんの真摯さ、一生懸命さに感動し、教師になって本当によかったと心から思えた最高の文化祭でした。他の先生方もおそらく同じ気持ちだと思います。村岡中学校の皆さんに心から感謝します。ほんとうにありがとう！



新人大会・文化面の成績

但中駅伝 惜しくも県大会逃す！

卓球部 男女団体・個人 完全優勝！

★但馬中学校新人卓球大会 (10/5・22 養父市立八鹿総合体育館)

【男子個人】	【女子個人】
第1位 田中 瑠紀(2年)	第1位 岡本 華望(1年)
第2位 今岡 功貴(2年)	第5位 坂本 愛(1年)
第3位 中村 駿汰(1年)	以上5名は、兵庫県新人大大会個人戦へ進出！
【男子ダブルス】	【女子ダブルス】
第3位 輪達 裕斗・今井 一步 組	第3位 森垣 舞香・西垣 里虹 組
2組とも兵庫県新人大大会ダブルス戦進出！	
【男子団体】	【女子団体】
予選リーグ① VS出石 3-1	予選リーグ① VS出石 2-3
② VS大屋 3-1	② VS豊岡南 3-0
準々決勝 VS八鹿青溪 3-0	準々決勝 VS豊岡北 3-0
準決勝 VS豊岡北 3-0	準決勝 VS出石 3-1
決勝 VS日高西 3-0 優勝！	決勝 VS和田山 3-2 優勝！
男女とも兵庫県新人大大会団体戦へ進出！	

★但馬中学校新人バレーボール大会 (10/14 村岡中・夢が丘中)

【男子】	【女子】
1回戦 VS夢が丘 2-0	1回戦 シード
準決勝 VS日高東 0-2 第3位	2回戦 VS養父 1-2

★但馬中学校新人バスケットボール大会 (10/19 村岡区福岡体育館)

【男子】	【女子】
1回戦 VS養父 70-35	1回戦 VS城崎 26-80
2回戦 VS八鹿青溪 41-75 ベスト8	

★青少年読書感想文兵庫県コンクール

佳作 「ふたりにもらった勇氣」 中村 麻耶(3年)

★但馬西部河川海城環境保全ポスター展

入選 田中 暖花(3年)
佳作 青木 勇磨(3年) 井上 さとみ(3年) 井上 玲奈(3年)

★村岡区「みどり」の作品展 絵画の部

公民館長賞 谷淵 蒼大(3年)
特選 井上 真里愛(2年) 藤井 月姫乃(2年)
入選 田中 暖花(3年)

★村岡区「みどり」の作品展 書道の部

公民館長賞 中村 優月(3年)
森林組合長賞 西崎 咲蔵(1年)
特選 小谷 沙羅(2年) 中村 駿汰(1年)
入選 石井 実玖(3年) 森井 真大(2年)
佳作 今岡 未貴(3年) 西谷 悠希(1年)

香美町・日体大連携事業 教育講演会

11月14日(木)、町内の中学3年生が、香美町と日体大との連携事業による教育講演会(香住区中央公民館9:45~11:35)に参加します。8:40に学校を出発予定です。ソウル五輪野球銀メダリスト、日体大・筒井崇護教授の講演です。選手時代、コーチ時代の経験をもとに中学生の将来に対してアドバイスを交えたお話をさせていただきます。また、11月30日には、同じく日体大、西脇工業出身の別府健至教授による陸上教室が開催されます。ふるってご参加ください。

11月6日、好天の中、但中駅伝大会が開催されました。

昨年に続き2度目の出場となった女子は、1区10位から2区では順位を7位に押し上げ、3区4区でも7位をキープ。アンカーにつないだ時点で入賞圏内の6位まで約30メートルほどの差。徐々に差をつめ最後の直線、残り100mで5位にあがりましたが、ゴール前4チームがなだれ込む大接戦。結果的にわずか1秒の差で7位。惜しくも入賞と県大会出場はなりませんでしたが、1・2年生中心のメンバー構成で来年につながる好レースでした。

続いて3度目の出場となる男子は、4位の昨年に続いての県大会を狙って積極的に走りました。しかし、やはり陸上部のある学校の壁は厚く、5位・10位・8位・6位・7位と粘りながらも、こちらも惜しくも8位という結果でした。(詳細は次号に掲載。)

毎朝、練習に励んだ駅伝部の今年の挑戦は終わりましたが、控え選手もしっかりサポートし、確かに「ONE TEAM」になっていました。お疲れ様でした。



《 村岡中学校HP <http://muraoka-jhs.kami-hyogo.ed.jp/> 》

